

事業コード	06050101	政策コード	06	政策名	人口減少社会における地域力創造戦略				
事業名	秋田型地域支援システム推進事業	施策コード	05	施策名	地域の人材や資源を生かした地域力の向上				
部局名	企画振興部	課室名	地域活力創造課	指標コード	01	施策目標(指標)名	地域の支え合い体制の充実		
		班名	雪対策・地域支援班	(tel)	8601238	担当課長名	湯元 巖	担当者名	石川 至

評価対象事業(計画)の内容

事業年度 平成26年度 ~ 平成29年度

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)
 本県の少子高齢化は今後さらに進行し、2040年には人口が現在の2/3(70万人)にまで減少する見通しである。また、地域コミュニティ機能の減退などにより、日常生活に困難を来す高齢者等の増大が懸念される。こうした中、知事のいわゆるマニフェストにおいて、高齢者等が安全・安心に暮らすため、「秋田型地域支援システム」によって、地域にあった形で支え合う仕組みづくりを目指すこととなった。

3. 事業目的(どういう状態にしたいのか)
 除排雪や安否確認、買い物支援、集いの場の創出など、地域の実情を踏まえ、高齢者等生活弱者を支える体制を構築するためのプラン(特定地域再生計画)を策定し、秋田型地域支援システムを構築する。また、「はつらつ高齢者輝きアクションプログラム2014」を推進し、高齢者が地域で元気に活躍する秋田を目指す。

(重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望

2. 住民ニーズの状況
 ニーズを把握した対象
 受益者 一般県民 (時期: H26 年 03 月)
 ニーズの把握の方法
 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット
 その他の手法 (具体的に)
 ニーズの具体的内容

4. 目的達成のための方法
 事業の実施主体 県
 事業の対象者・団体 県民、市町村、NPO、ボランティア団体、民間企業等
 達成のための手段
 高齢者等の生活課題の調査・分析をし、課題の抽出・検証を行って、関係機関、住民等と協議会、ワークショップにより将来像等の検討及びプランの策定をする。またアクションプログラム推進委員会から助言・提言を受けるなどして「はつらつ高齢者輝きアクションプログラム2014」を効果的に推進するほか、高齢者が活躍する企業・団体等を表彰し、高齢者の社会参加を促進する。

高齢者等生活弱者に係る課題(除排雪、生活交通、買い物支援、安否確認等)、取組等が様々であるが、解決のための支え合い体制を構築して課題解決を図る。

比較した代替手段及び選択した手段の有効性
 高齢者の生活課題解決は基礎自治体である市町村の役割が大きいが、市町村単独では情報の収集、支援制度の構築、広域的な連携等に限界があることから、秋田県全体で地域ごとの取組の把握、情報提供、広域連携の促進を行うことにより、効果的な支援体制構築を目指すことが有効な手段と考えられる。

把握していない場合の理由及び今後の方針

理由	
今後の方針	

5. 事業の全体計画及び財源 単位(千円)

順位	事業内訳	左の説明	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体(最終)計画
01	秋田型地域支援システム推進事業	除排雪や安否確認、買い物支援など、高齢者等生活弱者を支える体制を構築するためのプランを策定し、秋田型地域支援システムの構築を図る。	9,449						9,449
02	はつらつ高齢者輝きアクションプログラム推進事業	高齢者が地域で元気に活躍する秋田を目指すための指針である「はつらつ高齢者輝きアクションプログラム2014」を推進する。	2,365						2,365
財源内訳									
左の説明									
国庫補助金			11,814						11,814
特定地域再生事業費補助金			9,449						9,449
県債									
その他			2,365						2,365
繰入金(高齢者健康保持及び地域支援体制整備基金)									
一般財源			0						0

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		高齢者世帯等の生活課題の解決						
指標名	県民意識調査における、除雪に関して困ったことの有無（60歳以上）						指標の種類	
指標式	県民意識調査における、除雪に関して困ったことの有無（60歳以上） 困ったことがある（60代+70代）/調査数（60代+70代）						成果指標 業績指標	
年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	最終年度
目標a			69	66	63	60	57	57
実績b		74	データ等の出典					
東北	県民意識調査報告書							
全国								
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 09月 翌々年度 月								

指標名									指標の種類
指標式									成果指標 業績指標
年度別の目標値（見込まれる成果による指標）									
指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	最終年度	
目標a									
実績b			データ等の出典						
東北									
全国									
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月									

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性	
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性 高齢者等の生活課題の解決を図るため地域支援システムの構築を図る必要がある。また、高齢者が地域で元気に活躍する秋田を目指すために、はつらつ高齢者輝きアクションプログラム2014を推進する必要がある。	
住民ニーズに照らした事業の必要性 除排雪や買い物、地域交通等に不便を感じる高齢者等があり、地域の状況に適った支援システムの構築を図る必要がある。	
事業の県関与の必要性 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの	
高齢者等に関する地域課題解決のためには、基礎自治体である市町村の果たす役割が大きいが、手法に係る情報の収集・提供、支援制度の検討・確立、広域的な連携等は県が先導的に体制整備を図るべきものである。	

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
重点事業	その他